

診療支援部歯科衛生部門

医歯学総合病院・歯科衛生士 村山 美根子



平成20年4月1日より、診療支援部歯科衛生部門長の任を受けました村山です。定年により退官された吉岡士長の後を担当させていただくことになりました。

4月より部門は、3名の新メンバー（正確には1人は2月より採用）が加わり現在14名（常勤4名、非常勤6名、パート・タイマー4名）が歯科外来スタッフとして9診療室で業務に励んでおります。（表1）

昨年まで1人勤務の診療科に、増員（非常勤）1名の有効活用ができましたことは大変良かったです。

また新潟大学歯学部にて平成16年度4月に新設された、口腔ケア、摂食・嚥下に関する高度な専門知識を有し、保健・医療・福祉を総合的に考え、実践できる専門家を養成することを目的で作られた口腔生命福祉学科の1期生3人の加入は、新たなパワーとして部門にとりましては活性化に繋がるものに間違いありません。病院歯科衛生士は、高齢社会の中増加する基礎疾患を有した歯科患者様に対応するため、医学知識を身に付け全身状態を理解し、把握した上で安全に業務を行い、口腔のみに目を向けるのではなく患者様の心身のケア、心の痛みにも対応していけることが望ましいと思います。また口腔ケアが早期離床、在院日数の短縮、早期の経口摂取可能等、有用であることが認知されている中、介入とさらなる向上を目指さなければなりません。今後はNST（栄養サポートチーム）等、他職種との連携すなわちチーム医療にも少しでも参加させてもらい関連する職種の方々との連携を強め、患者様のQOL向上に貢献できるように医療従事者として一層のプロ意識の

認識に努めていくことが重要だと思います。

それでは部門として、日々診療業務以外の1人1人の役割について少し紹介します。

①業務係について

- ・診療報酬改定に伴う年度初めは、提供文書等の内容見直しする。業務の合間を縫ってこつこつと対応しました。
- ・移動体制（助勤）で各9診療室に必要とされている業務内容の基準や手順の情報収集と課題の検討をする。移動（助勤）することによる、各診療科の業務内容を知らなければならぬので積極的に学ぶ姿勢が生まれる、診療科によって業務のやり方が違うことや、疑問に思うことを共有化し問題意識の定着につなげる。

②研修係について

- ・医歯学総合病院で働く歯科衛生士として、高度な先進医療が年々導入されている現在、スキルアップならびにモチベーションアップを積極的に取り組む必要性があります。部門では年に4～5回研修会をメンバーの1人がリーダーになり行っています。

③会計・記録について

- ・部門の縁の下の力持ちです。忙しい日々の中確実に仕事を果たしています。

以上の様に日常業務にとどまらず活動しています。

平成18年4月に歯科外来システムの再編がスタートし、看護師数が減り歯科衛生士数が増加されてきています。業務について、意見交換などを十分に行い、日々の業務連携に努力していきたいと考えております。今後とも診療支援部衛生部門をどうぞよろしくお願いいたします。

表 1 歯科外来における歯科衛生士配置表

矯正科	村 山	佐 藤	高 橋
顎関節診療部 画像診断診療部 インプラント治療部 障害者歯科	後 藤	大 岩	
予防歯科	石 澤	市 川	村 上
摂食・嚥下リハ室	仲 澤		
歯の診療室 歯周病診療室		天 池	小 島
義歯（入れ歯）		長谷川	
義歯（冠ブリ）			松 田
口腔外科			渡 邊

